

一般社団法人日本LD学会 第28回大会（東京）

【1日目:2019年11月9日（土）】

建物	使用用途	人数	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
パシフィコ横浜	第1会場 メインホール	1000	9:30-10:00 開会式 大会長 講演	10:00-12:00 大会企画シンポジウム1 「LDの「定義」を再考する I LDの「定義」はどう作られていったのか」		12:20-14:20 特別講演1 「LDへのCross-Battery Assessmentの方法」 Dawn P. Flanagan (St. John's University)		14:40-16:40 国際委員会企画講演 「発達障害者へのコーチングの方法」 David R. Parker (Children's Resource Group, USA)		17:15- 17:45 理事長 講演	17:45- 18:15 授賞式	18:15-18:45 受賞者 講演		交流会 パシフィコ横浜6F ベイブリッジカフェテリア	
	第2会場 5F503	400		10:00-12:00 研究委員会企画シンポジウム 「発達障害のある児童生徒を対象とした通級による 指導における現状と課題」		12:20-14:20 大会企画シンポジウム2 「LDの「定義」を再考する II LDの定義からいかに「診断・判断」を行うのか」		14:40-16:40 大会企画シンポジウム3 「LDの「定義」を再考する III LDをどう正確に診断・判断し(対応)に結びつけるの か」		17:15-18:45 教育講演5 「ビジョントレーニングの理解と実践」 奥村智人 (大阪医科大学LDセンター)					
	第3会場 5F501	340		10:00-12:00 全国LD親の会企画シンポジウム 「発達障害者の顕在化されにくい 読み書き困難の現状 -厚生労働省平成30年度障害者総合福祉 推進事業から-」		12:35-14:05 教育講演2 「就労支援」 相澤欽一 (宮城障害者職業センター)		14:40-16:40 LD-SKAIP委員会企画シンポジウム 「LD-SKAIPを用いた効果的学習支援 -通常学級および通級指導教室での 実践事例を通じた検討-」		17:15-18:45 倫理委員会企画シンポジウム 「プライバシーの保護等に関する 研究倫理の重要性」					
	第4会場 5F502	340		10:15-11:45 教育講演1 「米国での学びの ユニバーサルデザイン(UDL)」 川俣智路 (北海道教育大学院)		12:35-14:05 教育講演3 「法律家が語る合理的配慮」 坂生雄一 (AK法律事務所)		14:55-16:25 教育講演4 「感覚統合法」 三和 彩(美幌療育病院)		17:15-18:45 教育講演6 「ペアレント・トレーニング」 本田恵子(早稲田大学)					
	第5会場 3F303	280		10:15-11:45 自主シンポ1 読み書きの困難を見せる児童生徒へ の英語指導法の研修		12:35-14:05 自主シンポ12 心理検査のフィードバック		14:55-16:25 自主シンポ23 学習障害のある子どもたちへの 指導・支援とS.E.N.S.の役割		17:15-18:45 自主シンポ34 発達障害における多様な課題と 困難さへのアプローチを考える					
	第6会場 3F304	280		10:15-11:45 自主シンポ2 アスペルガー症候群者に特化した 就労支援プログラム—ESPIDD		12:35-14:05 自主シンポ13 特別支援教育の大学院教育		14:55-16:25 自主シンポ24 インクルーシブ教育を見据えた特別支 援教育コーディネーターの役割		17:15-18:45 自主シンポ35 発達障害のアセスメントと支援					
	第7会場 3F315	180		10:15-11:45 自主シンポ3 通級指導のこれまでとこれから 第2弾		12:35-14:05 自主シンポ14 Viscuitを用いた特別支援教育における プログラミング教育の可能性part2		14:55-16:25 自主シンポ25 小学生の読みの定着を図るために 大切なことは何かを考える		17:15-18:45 自主シンポ36 困難のある日本語学習者と どう接するか					
	第8会場 4F414+415	140		10:15-11:45 自主シンポ4 民間支援機関が担う役割と 青年期の課題		12:35-14:05 自主シンポ15 通常の学級で合理的配慮を実施するた めに必要な準備とは何か		14:55-16:25 自主シンポ26 今、改めて特別支援教育の あり方を問う		17:15-18:45 自主シンポ37 特別支援教育の推進を担う 通常学級の中堅教員の育成					
	第9会場 4F416+417	140		10:15-11:45 自主シンポ5 ASDの方言使用・理解と コードスイッチング		12:35-14:05 自主シンポ16 発達障害児における知的行動の促進 に向けた新しいアセスメントと訓練アプ		14:55-16:25 自主シンポ27 適切な自己理解を促すための 指導・支援とはVI		17:15-18:45 自主シンポ38 中学校通常学級における学習に難しさ のある生徒に対する授業の工夫と支					
	第10会 3F311+312	130		10:15-11:45 自主シンポ6 読み書きに困難のある児童生徒に対する マルチメディアデイジタル教材を活用し		12:35-14:05 自主シンポ17 筑波大学における発達障害の可能性 のある学生への支援		14:55-16:25 自主シンポ28 学校全体、地域に広げる学びの ユニバーサルデザイン(UDL)		17:15-18:45 自主シンポ39 小・中学校特別支援学級・通級指導教 室における自立活動の指導のあり方					
	第11会場 3F313+314	130		10:15-11:45 自主シンポ7 崩れない学級づくりの極意		12:35-14:05 自主シンポ18 授業のUD化から学びのUDへ		14:55-16:25 自主シンポ29 教育段階からの就労・自立を見据えた 家庭との連携の在り方		17:15-18:45 自主シンポ40 ユニバーサル・デザインの授業を 究める・広める					
	第12会場 4F418	130		10:15-11:45 自主シンポ8 放課後等デイサービス事業所が 取り組む連携と支援		12:35-14:05 自主シンポ19 就労後、長く働き続けるために必要な 大学での教育的支援とは		14:55-16:25 自主シンポ30 学習言語の評価と指導		17:15-18:45 自主シンポ41 障がい者の学習を遠隔で結ぶ 授業の可能性					
	第13会場 4F419	130		10:15-11:45 自主シンポ9 発達特性のある児童生徒の 才能を活かす2E教育		12:35-14:05 自主シンポ20 読み書きに困難のある児童生徒及びマ ルチメディアDAISY教材の理解・啓発に		14:55-16:25 自主シンポ31 インクルーシブ教育の下、根拠のある 指導・支援を目指して		17:15-18:45 自主シンポ42 子どもが自己的認知に気づくという普 ロセスに焦点づけたコグトレの実践					
	第14会場 4F411+412	120		10:15-11:45 自主シンポ10 ICT活用可能な教員養成について 考える		12:35-14:05 自主シンポ21 インクルーシブ教育に必要な連携—学 校と他領域専門家の連携—		14:55-16:25 自主シンポ32 自閉症スペクトラムの人の余暇・自由 時間の支援(3)		17:15-18:45 自主シンポ43 「デイジタル教材の活用の広がり」					
	第15会場 4F413	100		10:15-11:45 自主シンポ11 保育所・幼稚園における子どもの 発達支援と親支援		12:35-14:05 自主シンポ22 共生社会の実現に向けた知的障害者 等への生涯学習プログラムの実践研究		14:55-16:25 自主シンポ33 「視線入力」を用いた早期発見・支援の 可能性について		17:15-18:45 自主シンポ44 ICFを活用した学齢期の発達障害支援 から多領域連携の実現可能性を考え					
	第16会場 5F511+512	50								17:15-18:15 国際委員会企画 ラウンドテーブル1					
	ポスター展示会場 3F301+302			9:30~ 掲示可能時間	10:15-10:55 P1_001~013 10:55-11:35 P2_014~025		12:35-13:15 P3_026~038 13:15-13:55 P4_039~050		14:55-15:35 P5_051~063 15:35-16:15 P6_064~075		17:15-17:55 P7_076~088 17:55-18:35 P8_089~100				

※第1会場にて文字通訳を実施予定

※クローカ: 9:00~18:45

※自主シンポジウムもテーマを記載しておりますが、紙面の関係上見切れている場合がございますので、詳細はウェブサイトプログラムページの【自主シンポジウム一覧】をご覧下さい。

一般社団法人日本LD学会 第28回大会（東京）

【2日目:2019年11月10日（日）】

建物	使用用途	人数	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
パシフィコ横浜	第1会場 メインホール	1000	9:30-11:30 特別講演2 「実行機能から見たLDへの介入」 George McCloskey (Philadelphia College of Osteopathic Medicine)					14:10-16:10 演劇 「はるながまちにやつてきた」 ライフステーションワンステップかたつむり				
	第2会場 5F503	400	9:30-11:30 大会企画シンポジウム4 「LDの「定義」を再考するIV —LD定義を前提にした合理的配慮とは—		11:50-13:50 大会企画シンポジウム5 「LDの「定義」を再考するV LDの診断・判断の<未来>を探る」		14:10-16:10 大会企画シンポジウム6 「LDの「定義」を再考するVI LDの定義を再考する～大会企画シンポジウムを振り返って」					
	第3会場 5F501	340	9:30-11:30 学会企画シンポジウム 「発達障害を中心とする教員免許状の創設の可能性 —通級指導教室・特別支援学級における指導の専門性を確保するための施策-」		12:05-13:35 教育講演8 「薬物療法」 原田剛志(医療法人悠志会パークサイドこころの発達クリニック)		14:25-15:55 教育講演9 「発達障害と性」 吉野智子 (早稲田大学)					
	第4会場 5F502	340	9:45-11:15 教育講演7 「発達障害のある人へのコーチング」 秋元孝城 (明星大学)		12:05-13:35 自主シンポ56 学校における認知機能向上のためのシステム導入		14:25-15:55 自主シンポ68 LCSA、K-ABC、WISCによる発達障害児のアセスメントの範囲と限界					
	第5会場 3F303	280	9:45-11:15 自主シンポ45 学習の土台となる認知機能強化のための指導・支援		12:05-13:35 自主シンポ57 高校に求められる通級による指導の実践研究		14:25-15:55 自主シンポ69 UDL(学びのユニバーサルデザイン)実践のステップ					
	第6会場 3F304	280	9:45-11:15 自主シンポ46 感覚や運動の問題のアセスメント		12:05-13:35 自主シンポ58 LCスケールおよびLCSAによる発達障害児のアセスメントから認知・言語指導		14:25-15:55 自主シンポ70 発達障害児者のためのVRを活用したSSTの開発とその効果					
	第7会場 3F315	180	9:45-11:15 自主シンポ47 子どもの学校生活につながる通級指導と発達障害医療・療育の連携構築を目指す		12:05-13:35 自主シンポ59 私学における心理教育		14:25-15:55 自主シンポ71 早稲田大学における発達障害学生に対する支援(第7報)					
	第8会場 4F414+415	140	9:45-11:15 自主シンポ48 ICTが支えた「受験」		12:05-13:35 自主シンポ60 中学校通常学級における学習に難しさのある生徒に対する授業の工夫と支援		14:25-15:55 自主シンポ72 発達障害学生が大学在学中に就労体験することの意義を考える					
	第9会場 4F416+417	140	9:45-11:15 自主シンポ49 小・中学校での自閉スペクトラム症等の発達障がい児への自立活動の新た		12:05-13:35 自主シンポ61 平谷こども発達クリニックにおけるディスレクシアの取り組みの成果と見えて		14:25-15:55 自主シンポ73 教育的ニーズのある子どもへの「主体的・対話的で深い学び」を実現するため					
	第10会 3F311+312	130	9:45-11:15 自主シンポ50 発達障害学生支援における家族との連携の意義		12:05-13:35 自主シンポ62 大学における発達障害学生への支援方法を考える		14:25-15:55 自主シンポ74 発達障がいの二次障がいへの対応					
	第11会場 3F313+314	130	9:45-11:15 自主シンポ51 一人ひとりの学び方に応じた支援について		12:05-13:35 自主シンポ63 小学校における自立活動のユニバーサルデザイン型指導の取組		14:25-15:55 自主シンポ75 組織として取り組む積極的・予防的な行動支援(positive behavior support)					
	第12会場 4F418	130	9:45-11:15 自主シンポ52 『発達障害学生白書』から考える、発達障害学生の就職活動		12:05-13:35 自主シンポ64 ディスレクシアのある児童生徒のための効果的な英語指導を考える		14:25-15:55 自主シンポ76 「特別支援教育支援員養成講座」で学んだ行動療法や感覚統合等のスキル					
	第13会場 4F419	130	9:45-11:15 自主シンポ53 KABC-II・WISC-IVの個別検査結果から認知特性を活かした指導方法		12:05-13:35 自主シンポ65 子どもの特性を出発点とした教材の選定と活用		14:25-15:55 自主シンポ77 インクルーシブ教育システム推進のための特別支援学校からの発信					
	第14会場 4F411+412	120	9:45-11:15 自主シンポ54 日本語の読み書きにつまずく児童・生徒への英単語読み書き指導		12:05-13:35 自主シンポ66 私学における特別支援教育の可能性		14:25-15:55 自主シンポ78 幼児期からの聴覚障害(2)					
	第15会場 4F413	100	9:45-11:15 自主シンポ55 インクルーシブ教育を推進する教員・専門職の在り方		12:05-13:35 自主シンポ67 特別な支援が必要な幼児児童生徒への就学前から就学までの移行支援		14:25-15:55 自主シンポ79 特別支援教育からみた幼小連携					
	第16会場 5F511+512	50	9:45-10:25 P9_101~116 10:25-11:05 P10_117~131				12:35~13:35 国際委員会企画ラウンドテーブル2					
	ポスター展示会場 3F301+302											

※第1会場にて文字通訳を実施予定

※クローケ:9:00~16:30

※自主シンポジウムもテーマを記載しておりますが、紙面の関係上見切れている場合がございますので、詳細はウェブサイトプログラムページの【自主シンポジウム一覧】をご覧下さい。